

ろうさい連携だより

2024.5
第43号



基本方針

- 1 患者さんの権利を尊重し、安全と安心を第一に考える医療を提供します
- 2 科学的根拠に基づく質の高い医療を提供します
- 3 職員全員が和となったチーム医療を実践します
- 4 地域の方々と勤労者の健康管理を支援します



平素より東北労災病院登録医の先生方、施設の皆様には患者さんをご紹介いただきましてありがとうございます。
診療科、その特色、医師紹介をまとめましたので、医療連携のお役に立てていただければ幸いです。
引き続き当院にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

独立行政法人 労働者健康安全機構 東北労災病院

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定病院

目次

- P1-8 診療科案内
- P9 第2回ろうさいスマイルミーティング開催報告
- P10 地域医療連携センターから
- P11 令和6年5月外来担当医表

東北労災病院診療科案内

(2024年4月現在)

◆消化器内科◆

消化器内科部長 小林 智夫

部長・消化器内視鏡センター長 大矢内 幹／部長 山川 暢、白木 学、近藤 譲
副部長 齋藤 晃弘、半田 朋子、柁 悠太郎
医師 今成 賢一郎、佐藤 拓、菅原 優里、伊藤 圭祐、渡部 康也

上部消化管領域では内視鏡検査による疾患の診断を通じて、上部消化管の良性・悪性疾患や他疾患の合併症の治療を多数施行しています。
下部消化管領域では同様に内視鏡検査を通じて良性・悪性疾患の別なく診断・治療を行っております。

肝臓領域では、抗ウイルス薬の進歩でB型・C型肝炎患者さんの病状進行抑制・治癒が確立しました。飲酒・肥満等による代謝性肝疾患が増加しており、**肝生検**で診断して治療を行っております。

膵臓領域では、**胆嚢・総胆管結石に対する内視鏡治療、胆膵系悪性腫瘍に伴う閉塞性黄疸に対する減黄処置、膵臓疾患の超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)**による診断も行っています。

【主な疾患】

上部消化管：食道炎、食道癌、消化性潰瘍、胃癌、胃炎 など

下部消化管：クローン病、潰瘍性大腸炎、虚血性腸炎、大腸癌 など

肝胆膵疾患：肝炎(急性、慢性)、肝癌、胆石症、胆のう炎、胆道癌、膵炎、膵癌 など

◆呼吸器内科◆

呼吸器内科部長 榊原 智博

院長代行・アスベスト疾患ブロックセンター長 三浦 元彦、副部長 田代 祐介、中村 優、大塚 竜也
医師 谷津 年保、阿部 武士、小笠原 嵩天

当科として対応可能な疾患は**肺炎、気管支喘息、COPD**など患者数が多い一般的な疾患から、**肺癌、間質性肺炎、気胸**など専門的な検査、治療を要する疾患、また労災病院として塵肺やアスベスト関連疾患など職業に関連した疾患まで、呼吸器疾患のほぼ全てに対応して診療しています。

現在の呼吸器疾患の診療においては、他科との連携が非常に重要になっています。特に肺癌の治療に関しては呼吸器内科だけでは適切な医療は提供できず、**呼吸器外科、放射線治療科、緩和ケア内科、病理診断科**などの各科と協力して診療を行っています。各科との協力により肺癌の診断から手術、放射線治療、化学療法、緩和医療(疼痛コントロールなど)まで当院で適切な肺癌治療が一貫して行えるようになっています。

【主な疾患】

肺炎、気管支喘息、COPD、肺癌、間質性肺炎、気胸、塵肺、アスベスト関連疾患

◆循環器内科◆

循環器内科部長 田中 光昭

副部長 高橋 貴久代、宇塚 裕紀 医師 天水 宏和、藤橋 敬英

当科では、**循環器疾患全般(急性心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患、心不全、心房細動や完全房室ブロックなどの不整脈)**に対応しています。

近年の心不全治療の進歩は目覚ましく、患者ひとりひとりの病態にあった適切な治療法の選択が必要です。当科では増悪している**心不全患者の急性期治療**だけでなく、漫然とクスリを飲み続けている**慢性心不全患者の現状評価とクスリの再評価**も行いますので、受診をおすすめいただけると幸いです。

【主な疾患】

循環器疾患全般(急性心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患、心不全、心房細動や完全房室ブロックなどの不整脈)

◆糖尿病・内分泌・高血圧内科◆

糖尿病・内分泌・高血圧内科部長・糖尿病・内分泌・高血圧センター長 鶴田 藍

部長 金野 敏 医師 宗像 正徳、中村 麻里、熊谷 絵里、鈴木 令子、金子 礼

免疫チェックポイント阻害薬使用に関連した糖尿病や副腎不全の症例にも対応いたします。他科診療中の血糖管理や周術期管理などにも対応しますので糖尿病をお持ちの他疾患患者さんが当院にご紹介となった場合には**糖尿病管理もあわせて行える**ことが当院の強みです。

また**肥満高血圧患者の減量入院**についても引き続き受け入れを実施しておりますので、自力での減量が困難な方や術前の減量・血圧コントロールが必要な患者さんについても地域医療連携センター経由で一度ご紹介をいただけましたら幸いです。

【主な疾患】

糖代謝一般(低血糖含む)、シックデイ対応、急性合併症(低血糖昏睡、糖尿病性ケトアシドーシスなど)、術前～周術期血糖管理、外来インスリン導入、インスリンポンプ導入・管理など、肥満症(非糖尿病含む)、臨床高血圧

◆腫瘍内科◆

腫瘍内科部長 森川 直人

当院腫瘍内科は、**消化器癌、乳癌を中心に周術期治療から進行・再発、終末期ケアまで幅広い診療**を行っています。また悪性リンパ腫についても東北大学病院血液内科医師にご指導いただきながら化学療法を行っています。「地域に根ざしたGeneral medical oncologist」として、専門性をもちつつ幅広い腫瘍に対応できる診療科を目指しています。近年では東北大学病院と連携して、**がんゲノム医療も積極的に進めており**、地域の患者さんの高度医療への入り口として機能できるようになりつつあります。

【専門分野】

臨床腫瘍学、緩和医療学、内科学

◆腎臓内科◆

腎臓内科副部長 神田 学

腎臓内科では**検尿異常や腎機能障害(急性/慢性)の精査・生活指導など幅広く腎疾患の診療**を行っています。

透析領域においては、**外来透析の他、入院透析、自家静脈内シャント作製、腹膜透析外来**を行っています。**入院透析では透析新規導入、透析患者さんの合併症による入院の他、持続緩徐式血液濾過や血漿交換、吸着式血液浄化法など各種急性血液浄化療法**も行ってまいります。

【専門分野】

腎機能障害(急性/慢性)

◆リウマチ科◆

副院長・リウマチ科部長 畠山 明

部長 加藤 一郎 医師 成田 衛

関節リウマチに関して**関節MRI、関節エコーを用いて早期診断**を心がけ、また早期の臨床的、構造的寛解の達成を目標に、リスク評価を行った上で、**生物学的製剤・JAK阻害薬**を積極的に

導入しております。

【主な疾患】

関節リウマチ

◆緩和ケア内科◆

緩和ケア内科部長 小笠原 鉄郎

医師 珠蘭 其其格

医師2名体制、病床数倍増(差額ベッド代のない多床室も含む)、外来、入院患者の苦痛のスクリーニングの徹底、緩和ケアチームによる毎日の病棟回診、外来患者の主科と同日並診、看護外来での相談支援、地域のクリニックのバックベッド機能、介護する家族のためのレスパイト入院受け入れ、音楽療法、がんリハビリテーションを提供しております。

【専門分野】

緩和医療学、内科学、消化器病学、超音波医学

◆心療内科◆

心療内科部長 町田 貴胤

副部長 町田 知美

対象疾患は**心身症、ストレス関連疾患、摂食障害、機能的消化管障害**など多岐にわたり、**検査で異常がない原因不明の身体症状、いわゆるMedically-Unexplained Symptomの診療**にも対応しております。病態が良く分からず何科に紹介すべきか迷うような症例などもぜひご相談ください。

また入院治療も対象疾患の範囲で積極的に行っております。特に**摂食障害**については**年齢制限を設けず、BMI<10のような最重症例から軽症例に対する教育入院まで幅広く対応**しております。

【主な疾患】

心身症、ストレス関連疾患、摂食障害、機能的消化管障害

◆総合診療科◆

総合診療科部長 小山 二郎

多疾患併存の患者さんを**全人的・包括的に診療していくことが総合診療科の役割**であり、使命であると考えます。その人の人生やご家族に寄り添い、その人の気持ちに共感しながら社会面や心理面からも診療する全人的なアプローチをしていきたいと考えております。介護・福祉を含めた保健活動など地域全体を見据えて患者さん中心の満足のいく診療を行っていきます。

【専門分野】

内科

◆消化器外科◆

外科部長・消化器外科部長 成島 陽一

内視鏡外科部長・内視鏡下手術センター長 松村 直樹／肝胆膵外科部長・ヘルニア外科部長 野村良平

部長 齋藤 匠、副部長 金原 圭吾 医師 佐藤 馨、榊間 貴滉、笹川 佳樹

下部直腸癌では肛門機能の温存を図り、通常の腹腔からの操作に加え肛門からもカメラと鉗子を挿入し、直腸と直腸間膜を切除する経肛門的直腸間膜切除術(TaTME)を行っています。腹腔鏡下肝切除術、一部の腹腔鏡下膵切除術も当科では保険診療で手術が行える施設認定を受けています。消化器悪性腫瘍でも術前化学療法を治療戦略として位置づけられるようになり、当院腫瘍内

科との緊密な連携のもと治療を行っています。鼠径ヘルニアでは再発症例も含め、患者さんの病状・状態を充分精査して、術式や麻酔法方法も含め最良な手術方法を提供しています。

当院では2024年度上半期に**内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ Xi)**が稼働いたします。消化器外科では主に小骨盤内での緻密な手術操作が求められる直腸癌手術に使用される予定です。癌手術においては根治性、安全性、機能温存、低侵襲を同時に実現すべく手術レベルの向上に努めてまいります。

【主な疾患】

胆嚢結石症、総胆管結石症、急性胆嚢炎などの胆石症、胃癌、胃粘膜下腫瘍、大腸癌、肝胆道系悪性腫瘍(胆管癌、胆のう癌、十二指腸乳頭部癌、膵臓癌、胆内胆管癌、転移性肝癌)鼠径ヘルニアなどのヘルニア疾患、急性腹症特に消化管穿孔、急性虫垂炎、腸閉塞など、その他消化器外科一般、外科の急性期医療

◆大腸肛門外科◆

大腸肛門外科部長・炎症性腸疾患センター長 高橋 賢一

部長 羽根田 祥

大腸肛門外科は、**炎症性腸疾患(IBD)の外科治療と各種肛門疾患の外科治療**を二本柱として診療を行っています。

当院で設立しているIBDセンターは厚生労働省の「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班に分担研究者として参加し、全国多施設研究や新薬の治験に多く関わっており、**最新の治療を含めたIBDの専門的治療の提供が可能**となっています。

また**肛門内圧測定や排便造影などの専門的な直腸肛門機能検査**を行っていること、全身麻酔での手術も行えることから**心疾患等で抗凝固薬内服中の患者さんの手術にも対応**しております。

【主な疾患】

大腸癌、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患、肛門疾患など

◆乳腺外科◆

副院長・乳腺外科部長・乳腺センター長・がんセンター長 本多 博

副部長 千年 大勝

当院は**日本乳癌学会の認定施設**で、COVID-19や病院移転問題の中、登録医を始め多くの医療機関より患者さんのご紹介をいただき、年間180例前後の手術並びに多くの治療を行っています。当科の乳がん診療の特色として以下の2点が挙げられます。

病理医3名(常勤2・非常勤：東北大医師)の強みを活かして、**RI・色素法併用によるセンチネルリンパ節生検(2mm切片検索)と温存術切除断端(4方向)の迅速病理診断**を行い、高い同定率と正確な診断で郭清省略とリンパ浮腫予防に加え、根治性を高めています。

乳腺センターとして週1回、腫瘍内科・緩和ケア内科・放射線治療医、看護師(乳がん看護・がん化学療法看護・緩和ケア認定、入退院支援)、薬剤師(外来・病棟・調剤薬局)による**多職種**の**乳腺カンファレンス**を行い、両立(就労)支援コーディネーターを加え、チーム医療で患者さんに最適な治療・支援を受けていただく体制を構成し、きめ細かい対応と情報共有並びに患者さんの社会復帰に努めております。

【専門分野】

乳腺外科、乳がん治療

◆脳神経外科◆

脳神経外科部長 高橋 智子

当科では主に**脳卒中や頭部外傷などの診断と治療**を行っています。開頭術や血管内治療には対

応できないため、発症からのタイミングや重症度によっては他院を紹介させていただくことがあります。ご相談いただければ適切な治療を受けていただけるように対応いたします。

【主な疾患】

脳梗塞、脳出血、頭部外傷、慢性硬膜下血腫、一時的頭痛、てんかん、脳腫瘍など

◆呼吸器外科◆

呼吸器外科部長・呼吸器疾患センター長 保坂 智子

対象疾患は、呼吸器疾患全般であり、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、若年者から高齢者までの気胸、縦隔腫瘍、胸膜腫瘍、膿胸、間質性肺炎疑いの肺生検などの手術を行っています。手術が中心ですが、処置が必要な外傷性多発肋骨骨折による血気胸の患者さんも受け入れております。

【主な専門分野】

呼吸器疾患全般(肺癌、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、自然気胸、肺嚢胞、急性膿胸など)

◆整形外科◆

副院長・脊椎外科部長 日下部 隆

院長 井樋 栄二 脊椎外科部長 松谷 重恒、外傷・関節外科部長 小河 裕明
第一関節外科部長・股関節センター長 千葉 大介／第一関節外科部長 國井 知典
第二関節外科部長 奥野 洋史、第二関節外科副部長 品川 清嗣
医師 信田 進吾、小林 良平、松田 瑞基、宮坂 沙也加

脊椎外科では**脊椎変性疾患、リウマチ性脊椎疾患、脊椎外傷ならびに脊髄腫瘍の手術**、関節外科では**各種人工関節置換術、肩関節・膝関節の関節鏡視下手術、リウマチ関節外科手術、末梢神経障害に対する神経剥離術・移行術、機能再建術、四肢の骨折・脱臼の治療**を行っています。

【主な専門分野】

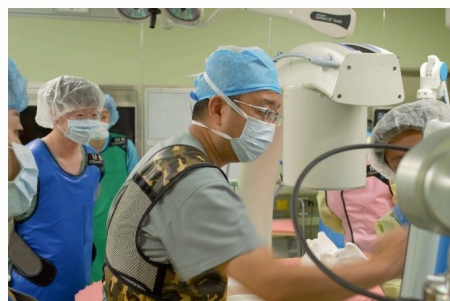
上肢・下肢の骨折、腱断裂、神経断裂、脊椎の脱臼・骨折、脊髄損傷などの外傷、頰椎症性脊髄症、後縦靱帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、脊髄腫瘍などの各種脊椎疾患、変形性股関節症、変形性膝関節症の人工関節置換術や骨切り術、関節鏡による膝関節手術、各種肩関節疾患の鏡視下手術、変形性肘関節症、関節リウマチの関節形成術、末梢神経障害に対する神経剥離術、手根管開放術、麻痺に対する機能再建術

人工関節手術ロボット「ROSA」のご案内

当院「股関節センター」では患者さん一人一人の訴えにしっかり向き合い、その患者さんに最も良い治療法を考えていきます。

「ダヴィンチ」の普及により、ロボット支援下の外科手術が一般的になりつつありますが、当院では宮城県のどの病院よりもいち早く人工関節手術ロボット「ROSA」を導入しています。

「ROSA」によるサポートにより、骨切りの角度や人工関節の設置位置などを0.5°、0.5 mmといった細かな単位で術中に微調整することが可能です。最小侵襲手術(MIS)に「ROSA」を併用することで患者さんへの侵襲が少なくなり、合併症のリスクも軽減され、より安全な手術を提供することができます。入院期間も以前より短縮して、10日～2週間程度で退院が可能となっています。当院では保険適用で「ROSA」支援下手術を受けることができます。股関節周辺を痛がっているけど原因が良く分からないということでも構いません。月曜日、水曜日、木曜日(午前)が外来日になっております。お気軽に、「股関節センター」宛てへ、御相談、御紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



◆救急科◆

救急科部長・外科部長 赤田 昌紀

当院救急外来では救急車で搬送された患者の初期対応を行い、バイタルサインを安定させることに注力しつつ、並行して診断を進め適切な診療科に引き継いで、継続した治療ができるよう努めてまいります。基本的に救急車の受け入れのみとなりますが、院内発症の重症者、敗血症、外傷、中毒などは救急科が担当で入院治療を行うこともあります。あらゆる疾患に対応できるように病院体制の整備を進めているところではありますが、常勤医不在の診療科もあり、当院においては応需することのできない疾患、病態もあり、以下に記します。

【対応できない疾患・病態】

重症熱傷、四肢切断、婦人科疾患、特殊感染症、中枢神経感染症、血管系病変(大動脈解離、SMA塞栓など)

◆小児科◆

副院長・小児科部長 千葉 靖

部長 高柳 玲子、沼田 美香

当科は常勤医師の3名全員が小児感染症学会認定医の資格を有しており、感染症の診断と治療を重点に日常診療を行っています。細菌検査室の協力により、できる限り当日～数日以内に病原診断を行うことで速やかに治療方針の決定がなされるよう努め、綿密なディスカッションを繰り返しながら、個々に適切な診療を行うことを心がけています。さらに耳鼻咽喉科など他科との連携のもと、合併症の早期発見・早期治療にも力を入れています。

【主な疾患】

小児感染症、呼吸器感染症、消化器感染症、耳鼻科・皮膚科領域と関連した感染症、尿路感染症、小児腎疾患、先天性腎尿路異常、夜尿症、小児気管支喘息(発作時の治療および長期的な治療)

◆皮膚科◆

皮膚科部長 黒木 茂

医師 瀬川 優里恵、奥田 早紀

患者の皆さんには日本の現代皮膚科の標準治療をします。その上で皆さんの意思や日常生活における満足度を尊重した治療方針の選択を常に心がけます。当院は急性期の疾患を扱うことを主としており、病状が落ち着いた場合には紹介元の病院に逆紹介をし、信頼できる開業医の先生に今後の加療をお願いすることがありますので、診察時にご相談ください。

【主な疾患】

湿疹、皮膚炎、皮膚掻痒、アトピー性皮膚炎、細菌性皮膚感染症(とびひ、丹毒、蜂窩織炎)、にきび・真菌感染症(水虫、カンジダ症、癬風)、ウイルス性感染症(いぼ、水いぼ、水痘、麻疹、带状疱疹、単純ヘルペス)、中毒疹(薬疹を含む)、尋常性乾癬、掌蹠膿疱症、皮膚外傷、熱傷(やけど)、外傷後瘢痕・自己免疫水疱症(天疱瘡、類天疱瘡)、血管炎(アナフィラクトイド紫斑病、アレルギー性血管炎)、皮膚潰瘍(うっ滞性、動脈性、糖尿病性、外傷性)、皮膚腫瘍(良性腫瘍、悪性腫瘍)、爪、毛髪の疾患(陥入爪、爪囲炎、爪水虫、爪変形や変色、脱毛症)、色素異常性疾患(尋常性白斑、あざ、しみ)

◆泌尿器科◆

泌尿器科部長 阿部 優子

部長 工藤 貴志 副部長 櫻田 祐

当科は腎、尿管、膀胱、男性生殖器を治療対象として、感染症、腫瘍、外傷、排尿障害などの機能障害の診断から治療までを一貫して行います。

悪性腫瘍は腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍などがあり、手術・化学療法・緩

和治療を行っております。腎癌や尿路上皮癌については手術不能例や化学療法無効例に対し**分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬**といった新しい薬物治療が適応となり、治療を受ける患者さんの数は増加しております。

【主な疾患】

悪性腫瘍(膀胱癌、腎盂・尿管癌、腎癌、前立腺癌、精巣腫瘍など)、良性腫瘍(前立腺肥大症など)、神経因性膀胱(脊髄損傷、脳血管障害、骨盤内手術後遺症、糖尿病性神経因性膀胱など)、中毒疹(薬疹を含む)、女性泌尿器科疾患(尿失禁、膀胱脱、性器脱など夜尿症)、尿路損傷(尿道損傷、腎損傷、膀胱損傷など)、尿路・精路の感染症(膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎など)、結石(腎、尿管、膀胱結石)

◆眼科◆

眼科部長 植松 恵

医師 内田 恵子、南 瑛久

当科の特徴としては白内障手術とメディカル網膜の診療があげられます。

昨年、白内障手術の器械が新しくなり、より精力的に手術を行っております。手術は日帰りか入院を選べるようになっております。入院の場合は、局所麻酔は1泊2日、全身麻酔は2泊3日の入院です。全身疾患をお持ちの方も他科と連携して対応しておりますので、是非ご紹介ください。メディカル網膜の診療については、東北大から網膜専門医の応援も頂きながら、加齢黄斑変性、糖尿病性網膜症、網膜静脈閉塞症などに対応しております。

【主な疾患】

白内障、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症

◆耳鼻咽喉科◆

耳鼻咽喉科部長 渡邊 健一

部長 織田 潔 医師 齋藤 雄太郎、佐藤 悠歩、白鳥 秋菜

当科の診療内容ですが、特に力を入れているのが耳疾患の治療です。慢性中耳炎に伴った難聴の聴力改善手術や真珠腫性中耳炎に対する鼓室形成術の症例が多く、最近は低侵襲な耳内視鏡下手術(TEES)の適応も拡大してきており、良い治療成績をあげています。鼻疾患においては4K内視鏡のクリアな術野のもと精密で安全な鼻内視鏡下手術を遂行しています。喉頭疾患として、早期喉頭癌手術(CO2レーザーを用いた鏡視下喉頭悪性腫瘍切除)や音声障害を改善する音声外科手術(喉頭微細手術、喉頭枠組み手術)を行っております。顔面神経麻痺の治療はステロイド治療を主とした早期介入が必要です。唾液腺、甲状腺、頸嚢胞といった頸部手術の経験も豊富です。

【主な疾患】

慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、難聴、好酸球性副鼻腔炎、早期喉頭癌、顔面神経麻痺、唾液腺腫瘍

◆リハビリテーション科◆

リハビリテーション科部長 原田 卓

部長 安達 理

労災病院のリハビリテーションは、脊髄損傷などに代表されるような労働災害で障害を負った患者さんのリハビリの長い歴史があります。よって経験豊富なリハビリスタッフと充実した設備を保有しています。また当院は東北でも有数の整形外科の基幹病院で、スポーツ整形、脊椎外科、関節外科など充実しており、そのリハビリが行われています。脳血管疾患も脳神経外科医師と連携し、リハビリを行っております。

【主な疾患】(リハビリ対象疾患、以下疾患に対応)

脳卒中、脊髄損傷などの脳神経系疾患(急性期から回復期まで、Botox治療も施行)、関節筋疾患(切断、義手・義足、装具など、筋電電動義手も対応)、心大血管疾患(心筋梗塞後、心不全、心大血管手術後、特に術後の脊髄梗塞など多数経験)、呼吸器疾患(COPDなど)、がん患者さんのリハビリ(乳癌術後リンパ浮腫や緩和的リハビリも含む)、廃用症候群(救急疾患や外科手術後など急性期病変後)、嚥下障害のリハビリ(嚥下造影)、顔面神経麻痺のリハビリテーション

◆放射線治療科◆

放射線治療科部長 田邊 隆哉

当科では標準的な放射線治療をElekta社のリニアックVersaHDを用いて三次元原体照射を行っております。

声門癌、肺癌、食道癌、肝臓癌、膀胱癌、前立腺癌、皮膚癌等の根治的放射線治療を、化学療法併用の場合は各臓器の主治医科のご協力のもと行っております。肺癌や肝臓癌では体幹部定位放射線治療も可能です。(肝臓癌の定位照射はマーカー埋込なしでも透視で位置照合可能な場合に限ります。)

上記疾患以外にも、根治的治療、緩和的治療を問わずなるべく対応したいと考えておりますので、お気軽にお問い合わせください。

◆歯科◆

歯科部長 永井 浩美

医師 塚田 甲、加藤 翼

当科は周術期口腔機能管理、地域連携歯科医院からのご紹介症例(主に口腔外科症例 原則的に火曜日、木曜日、金曜日の午前中)、院内入院患者さんの歯科的対応、院内他職種連携診療チームへの参加を中心に診療を継続いたします。

現在受入数が多いのは埋伏智歯などの抜歯、外傷、嚢胞などの顎骨病変・顎骨壊死、炎症、粘膜疾患、顎関節疾患などで、入院対応も行っております。他お困りの症例や急を要する症例につきましてはできる限り応需いたしますのでお気軽にご相談だけでもお寄せいただければ幸いです。

◆健康診断部◆

部長 長澤 美穂

医師 今岡 洋一

特定健診、定期・雇い入れなどの一般健診、生活習慣病予防健診、人間ドック、特殊健診など様々な健診を行っています。さらに、特殊健診としてじん肺、石綿、電離放射線、高気圧障害、振動障害、有機溶剤、VDTなど職業に関連した健診も行っています。

◆病理診断科◆

病理診断科部長 村上 一宏

副部長 中山 文恵

当科は常勤病理専門医2名で、東北大学病院の協力を得ながら診断を行っております。

病理診断は治療方針の決定や治療効果の判定にしばしば重要な役割を持つため各診療科との連携が必須であり、各科と積極的に関わりつつ、診断や治療方針に関する意見交換を行うよう心がけています。

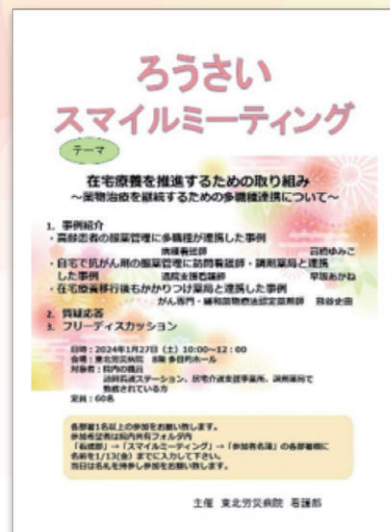
診断困難例では東北大学病院病理部をはじめ外部施設へのコンサルテーションを行うことで診断精度を高める努力をしています。

【ろうさいスマイルミーティング開催しました】

2024年1月27日(土)、2023年度第2回目の『ろうさいスマイルミーティング』を開催しました。この会は、患者さんが地域で安心して療養できるよう、地域で活動する多職種の方々と交流し、情報交換しやすい顔のみえる関係づくりができることを目的に、2022年から開催しています。

今回は、「在宅療養を継続するための取り組み～薬物療法を継続するための多職種連携」をテーマとし、病棟看護師、入退院支援看護師、訪問看護師、薬剤師など総勢48名が参加し、事例検討や意見交換を行いました。

最初に当院の地域包括ケア病棟看護師、入退院支援看護師、がん専門・緩和薬物療法認定薬剤師から、薬物療法を継続するために工夫したことや、薬薬連携の取り組みや患者指導についての事例紹介をし、意見交換を行いました。意見交換では、院内外の関係者が車座となり、事例に関して、日頃から工夫していることや困っていることなど、それぞれの立場からの貴重な意見を聞くことができました。



今回テーマとした薬剤管理は、厚生労働省の退院困難のアセスメント項目にも薬剤自己管理の可否があるように、在宅療養を推進するうえで大変重要と言えます。参加者からは、「薬剤師、調剤薬局の役割を知る事ができた」、「拡大している調剤薬剤師の業務を知り勉強になった」、「かかりつけ薬局と連携できることは患者にとって安心材料になる」などの感想がありました。また、調剤薬剤師からは「これまで

で病院、調剤薬局、看護職で時間をかけて話し合う機会はなかった。貴重だった」という意見も頂きました。

今回のスマイルミーティングにより、改めて『患者は生活者であり在宅のイメージをもつ』という退院支援の基本を学ぶ機会となりました。更に、在宅への退院に悩む入院患者に対しては、直接、訪問看護師からの話を聞いてもらう機会が有効であることを聞き、実際に病棟に訪問していただくことや、調剤薬剤師と病院薬剤師がカンファレンスに同席する薬薬連携も実現しています。

今後も、更に多職種連携を充実し、患者さんが安心して在宅療養を継続できるよう、このスマイルミーティングを開催して参ります。今後とも宜しくお願い致します。



地域医療連携センターから

【人事異動のお知らせ】

採用 (令和6年4月1日)	
診療科	氏名
皮膚科部長	黒木 茂
第二泌尿器科部長	工藤 貴志
病理診断科部長	村上 一宏
消化器内科副部長	枘 悠太郎
皮膚科医師	奥田 早紀
循環器内科医師	天水 宏和
循環器内科医師	藤橋 敬英
呼吸器内科医師	小笠原 嵩天
リウマチ科医師	成田 衛
脊椎外科医師	宮坂 沙也加

採用 (令和6年4月1日)	
診療科	氏名
眼科医師	内田 恵子
糖尿病・内分泌・ 高血圧内科医師	久保 朋子
歯科医師	加藤 翼
内科専攻医	菊地 洋平
内科専攻医	早川 博騎
整形外科専攻医	小林 良平
整形外科専攻医	松田 瑞基
耳鼻咽喉科専攻医	白鳥 秋菜
麻酔科専攻医	迎 春奈

退職 (令和6年3月31日付)	
診療科	氏名
皮膚科部長	谷田 宗男
第四消化器内科部長	小島 康弘
第三外科部長	本山 一夫
消化器内科医師	斎藤 紘樹
呼吸器内科医師	鳴海 茜
消化器内科医師	田中 裕
リウマチ科医師	永井 泰地
泌尿器科医師	荒川 洋介
眼科医師	武田 瑤子

退職 (令和6年3月31日付)	
診療科	氏名
耳鼻咽喉科医師	清水 佑一
麻酔科医師	周 穎哲
内科専攻医	河野 雄一
内科専攻医	大友 梓
内科専攻医	相田 光太
整形外科専攻医	小林 史怜
整形外科専攻医	佐藤 佳衣
整形外科専攻医	鈴木 優樹
整形外科専攻医	正岡 隼

【月別紹介・逆紹介患者数】

	紹介患者数(人)	逆紹介患者数(人)
令和5年12月	900	916
令和6年 1月	869	827
令和6年 2月	830	866
令和6年 3月	904	934

東北労災病院 外来診療担当表 (令和6年5月1日)

R.6.4.30現在

曜日 科/部門	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	特殊外来・各種教室等		
総合診療科	小山二郎	小山二郎	小山二郎	小山二郎	小山二郎	完全予約制		
消化器内科	白木学	今成賢士郎	大矢内/近藤	大矢内幹	近藤 穰			
	齋藤晃弘	伊藤圭祐	半田朋子	白木学	柘 悠太郎			
	渡部康也	早川 博騎	柘 悠太郎	齋藤 / 半田	佐藤 拓			
	小林智夫		山川 暢	小林智夫	田 中 裕			
	山川 暢		阿部直司					
内視鏡	上部	大矢内/近藤/半田	大矢内/近藤/半田	大矢内/近藤/齋藤	山川/近藤/半田 太原【第3週のみ】	大矢内 / 齋藤		
	下部	柘 悠太郎	白木/柘/齋藤	白木学	柘 悠太郎/齋藤晃弘	白木 / 半田		
腫瘍内科	森川直人		佐藤悠子	森川直人	森川直人	院外新患は毎週月・木・金の午後(予約制)		
緩和ケア内科	珠蘭其其格11:00~12:00	小笠原鉄郎9:00~12:00	小笠原鉄郎11:00~12:00	珠蘭其其格9:00~12:00	小笠原鉄郎11:00~12:00			
糖尿病内分泌 高血圧内科	鴫田藍(登録医新患)	鴫田藍(登録医新患)	中村麻里(登録医新患)	鴫田藍(登録医新患)	鴫田藍(登録医新患)			
	鈴木令子/久保朋子	中村/鈴木/金子【再来】	鴫田/鈴木	中村/鈴木/久保	中村/鈴木			
	金野 敏	宗像正徳	金野 敏	宗像正徳	金野 敏			
循環器内科	田中光昭(新患)	高橋貴久代	天水/藤橋(新患)	田中光昭(新患)	東北大学医師(新患)			
	天水宏和(再来)	藤橋敬英(再来)	田中光昭(再来)	宇塚裕紀(再来)	高橋貴久代(再来)			
腎臓内科		神田学		東北大学医師(午前のみ)	神田学	完全予約制 木曜日は院外新患のみ		
呼吸器内科	三浦元彦	榊原智博	田代祐介	三浦元彦	榊原智博	喘息外来(予約制)	月	14:00~15:00
	田代祐介	大塚竜也	中村 優	中村 優	大塚竜也			
	小笠原嵩天	谷津年保	阿部武士	谷津年保	阿部武士	禁煙外来(完全予約制)	火	14:00~16:00
呼吸器外科	保坂智子				保坂智子			
心療内科	町田貴胤	町田貴胤	町田貴胤	町田貴胤	町田貴胤	新患は火・水曜日のみ完全予約制		
	町田知美	町田知美	町田知美	町田知美	町田知美			
小児科	千葉靖	千葉靖	高柳玲子	高柳玲子	千葉靖	午後診(すべて予約制) 乳児健診(及川):木曜13:00~ 予防接種:火・木曜14:00~ 腎臓外来(千葉靖):木曜14:00~		
	高柳玲子	沼田美香	沼田美香	及川智子	沼田美香			
外科	成島陽一	消化器外科担当医(新患のみ)	松村直樹	徳村弘実	野村良平	ヘルニア外来:月・火・木・金 胆石外来:月・火・木・金 胃外科:金(受付14時まで) 大腸外科:水 ストーマ外来:火曜午後予約制		
			佐藤 馨	野村良平	齋藤 匠			
大腸肛門外科		高橋賢一						
		羽根田祥						
乳腺外科	本多博		角川 陽一郎(午前のみ)	千年大勝(第1週)	(午前)本多博	午後新患のみ予約制		
		本多博(午後新患のみ)		吉田清香(第2週以降)	(午後)千年大勝			
整形外科 (関節)	井樋栄二(午前のみ)	小河裕明	小河裕明	小河裕明	奥野洋史			
	千葉大介	奥野洋史	千葉大介	千葉大介(午前のみ)	品川清嗣			
	奥野洋史(午前のみ)	品川清嗣(午前のみ)	國井知典	國井知典(午前のみ)	信田進吾(午前のみ)			
	國井知典(午前のみ)		信田進吾(午前のみ)					
	品川清嗣(午前のみ)							
信田進吾(午前のみ)								
整形外科 (脊椎)		日下部隆		日下部隆	※①日下部隆	※①日下部隆第2・4金曜午後不在 ※②松谷重恒第1・3金曜午後不在		
		松谷重恒		松谷重恒	※②松谷重恒			
脳神経外科	高橋智子	高橋智子		高橋智子	高橋智子			
皮膚科	黒木 茂	黒木 茂	黒木 茂	瀨川優里恵	黒木 茂	完全予約制		
	奥田早紀	瀨川優里恵	奥田早紀	奥田早紀	瀨川優里恵			
	瀨川優里恵(11:00~)	奥田早紀(11:00~)	瀨川優里恵(11:00~)		奥田早紀(11:00~)			
泌尿器科	櫻田祐(新患)	島谷蘭子(新患)	島谷蘭子(新患)	工藤貴志(新患)	工藤貴志(新患)	外来新患完全予約制		
	阿部優子	工藤貴志	阿部優子	櫻田祐	阿部優子			
産婦人科	阿部祐也	-	東北大学医師	阿部祐也		月・水・木曜日の午前のみ完全予約制		
眼科	植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	月・火・木曜日手術日(受付10時まで) 月・水・金曜日午後検査(予約制)		
	内田恵子	内田恵子	内田恵子(午前のみ)	内田恵子	内田恵子			
	東北大学医師(午前のみ)							
耳鼻咽喉科	渡邊健一	渡邊健一	渡邊健一	渡邊健一	渡邊健一	手術日月・水・金 再来予約制 舌下免疫療法:木曜午後(完全予約制)		
	織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔			
	齋藤雄太郎	齋藤雄太郎	齋藤雄太郎	齋藤雄太郎	齋藤雄太郎			
	佐藤悠歩	佐藤悠歩	佐藤悠歩	佐藤悠歩	佐藤悠歩			
	白鳥秋菜	白鳥秋菜	白鳥秋菜	白鳥秋菜	白鳥秋菜			
東北大学病院医師(午前のみ)		大山健二	大山健二					
リハビリ科	安達 理	原田 卓	※東北大学医師(第5を除く)	安達 理	原田 卓	外来院内紹介は午前のみ		
放射線治療科	田邊隆哉	田邊隆哉(新患)	田邊隆哉	田邊隆哉	田邊隆哉(新患)	完全予約制		
リウマチ科	加藤 一郎	加藤一郎(新患)	加藤 一郎	成田 衛	加藤 一郎	完全予約制(院内・院外)口		
		成田 衛	成田 衛(新患)	畠山 明	成田 衛			
		畠山 明						
歯科	永井浩美	永井浩美	永井浩美	永井浩美	永井浩美	完全予約制		
	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲			
がん看護外来	濱中直美 (がん化学療法)	穴戸理恵 (乳がん)		山内佳恵 (緩和ケア)		完全予約制 ()は担当看護師認定領域※予約時:午後のみ(13時~16時)、 午前:山内佳恵(緩和ケア)オンコール対応(不在時は午後担当者に)		

独立行政法人 労働者健康安全機構東北労災病院 〒981-8563宮城県仙台市青葉区台原4-3-21

受付時間8:15~11:00

代表番号

022-275-1111

地域地域連携センター 電話番号 022-275-1467

地域地域連携センター 専用FAX 0120-772-061